



人権感覚を高めるために

人権感覚は、一人ひとり違います。しかし、その違いで周りの人に嫌な思いをさせてはいけません。自分も含め、「誰一人取り残さない、人権感覚あふれる共生社会の実現をめざして!」人権感覚を高めていきませんか? そのためにも、次のことを意識して、人間関係を築いていきましょう。

アンコンシャス・バイアス(無意識の偏見)

これまでの自分の経験や見たり聞いたりしたことにつなげて、決めつけて物事を判断してしまう偏った見方や考え方のことです。自分の考えを「正しい」と思い込みすぎないように、研修会などに参加して、考え方などを確認していくことが大切です。

【子ども】

僕の家、親が単身赴任に行って、寂しいんだよ…。



【大人】

そうなんだ…。お父さんがいないと寂しいね。



【子ども】

単身赴任はお父さんじゃないんだけど…。



【大人①】

A型の人って、整理整頓がうまいよね。



【大人②】

そうだね。ちなみにO型の方は、豪快だよ。



【大人③】

友だちがA型だけど、整理整頓は苦手だったよ。私はO型だけど、細かなところが気になるなあ…。

マイクロアグレッション(小さな攻撃性)

一見、差別だと分かりにくく、発言や行動した本人も相手を傷つける意図のない、日常生活に潜む小さな行為のことです。誰もがもってしまうアンコンシャス・バイアス(無意識の偏見)から生まれてしまう行為です。意識することからはじめてみましょう。

【ケース①】

女性なのに、理系が得意なんて、すごいね。



【ケース②】

年配なのに、パソコンができるなんてすごいですね。



【ケース③】

新入社員だけど、意見するなんて、しっかりしているね。

